

広報誌

うえるふえあ

58号

2013.1.25

発行 社会医療法人慈生会広報委員会 鹿児島県枕崎市白沢北町191番地 TEL (0993) 72-0055



年頭のあいさつ

理事長・院長 鮫島秀弥

皆様、明けましておめでとうございます。今年は何年です。十二支の「巳」は植物に種子ができる時期をあらわすとされています。草木の成長が最大限に達し、次の生命が作られる時期ということらしいですが、今年は次なる飛躍に向けて頑張っていきたいと思います。

さて、平成24年末に衆議院選挙がありました。1年の総決算、いや過去3年間の総決算として、民意は自由民主党を選んだのでしょうか。結果として民主党は大敗し、自民党が大幅に議席を増やしました。民主党の敗因は、国家安全保障の視点が欠落していたこと、隠ぺい体質、景気対策を行わなかったこと、などでしょう。理念はあったようですが、地に足がつかない現実性を欠いた政策を行い、米国との関係を損ない、東北大震災と福島原発事故の対処は遅れ、円高を放置し、ひたすら景気の低迷をもたらしましたように思います。安倍政権が大胆に政策を遂行し、景気回復をはかり、日本人として誇りを持ち、安心して生活できる社会を実現していただくように心から祈っています。

私どもの役割は、精神科救急を柱にしながら、いつでもどこでも安心できる精神科医療を患者様に提供していくことだと考えます。「巳」年にちなみ、今年新しい種を蒔く年としたいと思います。

どの業界もそうですが、事業活動の一番の要諦は、良い人材がいること（育てること）とお客様（患者様）と良い関係を保てること、の2つだと思います。今年も、職員の技能向上に努め、お互いに切磋琢磨し、勉強し、互いに和を保ちながら頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

皆様におかれましても、健康で充実した1年になるように祈念致します。



経営理念

- 患者様の健康回復に努め、もって患者様の生活安定と幸福に貢献すること
- 地域住民の健康維持管理に努め、もって地域社会の発展に貢献すること
- 職員の生活向上と幸福をはかること

基本方針

- ◇ 患者様に満足してもらえる医療を提供します
- ◇ ストレス社会と高齢社会に対応した専門医療を提供します
- ◇ 地域医療に対応したプライマリーケア機能を高めていきます
- ◇ 高い技能と優れた人格を併せもった人材を育成します

当法人の就労支援の取り組みと、連携協力させていただいている、なんさつ障害者職業・生活支援センターについてご紹介させていただきます。

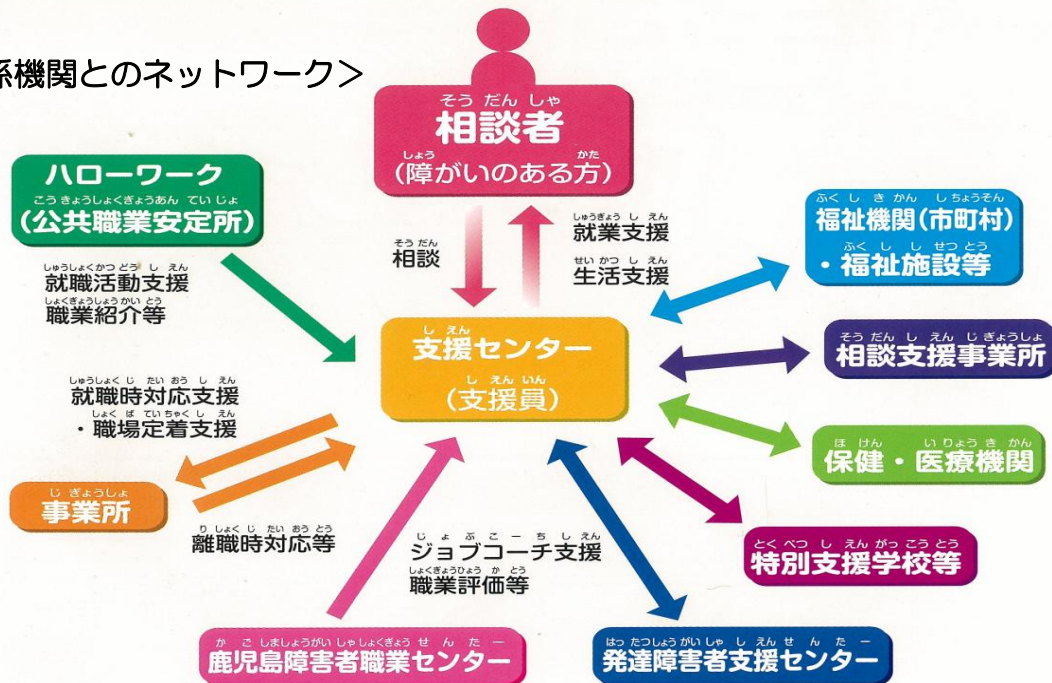
なんさつ障害者就業・生活支援センターの紹介

平成 24 年 8 月に「なんさつ障害者就業・生活支援センター」が開所いたしました。障害のある方、事業所、関係機関からの「障害者雇用に関する相談」に応じることを主としています。障害のある方たちが、地域で自立、安定した職業生活を送れるように様々な関係機関と協力して、就業及び生活上の支援を総合的に行う機関です。

<業務内容>

- ・センター窓口や巡回による相談
- ・就職に向けての準備支援
- ・職場開拓
- ・職場実習
- ・就職後の定着支援
- ・就業に伴う生活支援

<関係機関とのネットワーク>



問い合わせ先

『なんさつ障害者就業・生活支援センター』

- ❖ 住 所：南九州市知覧町郡135
(県立薩南工業高等学校そば)
- ❖ 公共機関：鹿児島交通知覧バス停より徒歩3分
- ❖ 相談時間：9：00～17：00
- ❖ 相 談 日：土・日・祝日・年末年始
(12/29～1/3)を除く
- ❖ T E L：0993-58-7020
- ❖ F A X：0993-83-2858
- ❖ E-mail：n-sc@po2.synapse.ne.jp

来所が難しい方に関しては、巡回による相談を行っています。お気軽にご相談ください。



あおぞらトライワークの紹介



◇ あおぞらトライワークとは

1人1人の患者様が個々の状況に合わせ、社会復帰と社会促進を図り、かつ就労に向けた活動を少人数のグループで行い、一般就労を目指すものです。毎週月・水・金（週3回）実施していて、現在登録者は5名です。

◇ 対象となる方

就労を目指している方、症状は安定していても生活リズムが不規則、人間関係に悩んでいる方、デイケアあおぞらに参加登録が可能な方が対象です。（※主治医が認めた方が対象となります。）

◇ 活動内容

各専門職（医師、看護師、薬剤師、作業療法士、臨床心理士、精神保健福祉士）がチームとなり、集団精神療法、学習会、ミーティング、作業療法、SST、リラクゼーション、デスクワーク、ウォーキングなど行っています。

詳しくはスタッフまでお尋ね下さい。精神科デイケアあおぞら 担当：土屋

地域活動支援センターうえるふえあの紹介



◇ 地域活動支援センターうえるふえあとは

地域で生活する障がい者の皆様の日常生活の支援・日常的な相談への対応や地域交流活動などを行うことにより、障がい者の皆様の社会復帰と自立と社会参加の促進を図ることを目的とする施設です。

◇ 事業内容

➢ 相談支援事業

ご本人やご家族などからの相談をお受けします。関係機関との連携を図り、専門的な相談支援を総合的に行います。

場合によっては、訪問、同行も行います。

➢ 地域活動支援事業

社会との交流の促進を図り、皆様の交流の場として利用して頂けます。

◇ 利用料

両事業とも無料

◇ 利用対象者

- 障がいをもつ方（身体・知的・精神問わず）で手帳等を受けている方
- 枕崎市、南さつま市、南九州市にお住まいの方

相談

悩みを相談したい
福祉サービス利用相談
就労したいけど、自信がない
働く前に自信をつける場所がないかなあ

憩いの場

ゆっくり過ごしたい
誰かとおしゃべりしたい
行事
どこかに出かけたい
活動
パソコンや料理をしてみたい

問い合わせ先：地域活動支援センターうえるふえあ TEL:0993-72-9242

作品コーナー

小さな体の大きな力



季節は移り、春のやさしい風が肌にこちよく吹く4月、おじいさんは田んぼに米の苗を植えなくてはなりません。しかし今年は2ヶ月も雨が降っていません。どうした事でしょう。

おじいさんは立ち上がり、わしはもう一度田んぼの様子を見てくるよ、そう言って水筒を持ち、田んぼに行きました。どの田んぼを見ても悲しくなるばかりでした。「今年は米は食べられないかもしれない」おじいさんはひどく落ち込みました。

空を見てはただ神様にお願いするばかり、もう帰ろうと立ち上がった時、足もとに目をやるとヒビ割れた土の中で一匹の大きなカエルが必死にもがき苦しんでいました。おじいさんはカエルを見てビックリしました。「可哀そうに、お前も水が欲しいだろう。」そう言って水筒の水をたっぷりかけてやりました。すると口をパクパクと動かし、手足を伸ばして動き始め、田んぼの真ん中まで跳ねて来ました。おじいさんはそれを見て嬉しくなり、もう一度たっぷりと水を与えました。すると、みるみる元気になったカエルはおじいさんの周りをぴよぴよと跳ねまわりました。カエルはおじいさんに言いました。「ありがとう！おじいさん！おかげですっかり元気になったよ。おじいさん、雨が降らないので田植えが出来なくて困っているんだね。僕に任せて！なんとか頑張ってみる。」そう言うと、息をお腹いっぱい吸い込みました。お腹はビックリするほど大きくなり、そして目を大きく開き体をぶるぶる震わせ、大きな声でゲロゲロと鳴き始めました。すると、その声を聞いた近くのカエルも隣の田んぼのカエルも一斉に鳴き始め、その声はどんどん大きくなって大合唱になり大空に響き渡りました。



おじいさんは、何かを感じ空を見上げました。すると、雷がゴロゴロと鳴りだし、大粒の雨が降り始めました。2ヶ月ぶりの雨におじいさんは大感激し、両手を広げて大声で叫びました。「これで田植えができる！！」カエルの偉大な力におじいさんはただただ驚くばかりでした。

あたり一面は見る見るうるおい、草花も元気を取り戻し、小鳥たちも飛び回りました。おじいさんは雨に濡れるのも構わず、カエルに言いました。「お前はすごい力を持っているんだなあ」。すると、カエルはにっこり笑っていいました。「僕はカエルのリーダーよ。みんなに力を借りただけなの。『僕たちは雨を呼ぶ生き物よ』百姓をしていたら雨が必要でしょう。僕たちと仲良くしていた方がおじいさんも得するよ」「そうだな、君たちの力をつくづく知ったよ。これからは仲良くして、お互いの絆を深めて行こう。雨を降らせてもらい心から感謝するよ」「なーに、水を貰ったから水をお返しただけさ。おじいさんこれからも田んぼを作ってね。そうじゃないと、カエル達が生活する場所がなくなるからさ」「もちろんそうするよ。私には君たちが必要だもの。」そうっておじいさんは雨に濡れながら嬉しそうに田んぼを後にして行きました。

棒踊り・太鼓踊り

10月29日に、山口棒踊り保存会と東鹿籠太鼓踊り保存会の皆様により踊りが披露されました。この踊りは、毎年南方神社、妙見神社の豊年祭りで奉納されるものです。

山口、東鹿籠の方々、有難うございました。



作業療法室より Vol.7

作業療法課 栗野里江子

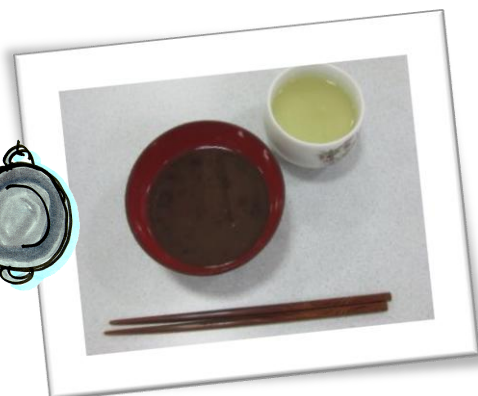
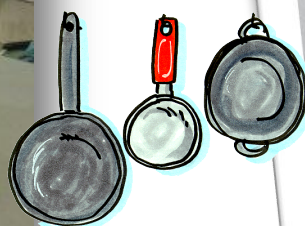


今回は料理活動についてご紹介したいと思います。料理活動では主にその季節にあった食べ物をみんなで作っています。認知症の患者様など自然と手が動いてみなさん上手に作ることができています。手を洗って、かっぽう着を着るとみなさん顔つきまで変わって見えます。

こちらは「かつおみそ」です。今は買えばいくらでもありますが昔は家庭で手作りしてたんですね。作ってみると意外と簡単にできました。味付けの際は「もうちょっと砂糖を入れたほうがいいよ」「最後に塩を入れるといいよね」など意見が聞かれていました。手作りはやっぱりおいしいですよ。



去年の1月には「ぜんざい」を作ってみました。作る楽しみもありますが作った後みんなで試食する時間もまた楽しく、患者様の笑顔を見ることができます。



行事食
おせち



レストラン課



- おせち料理
※ 献立
- 一 日の出蒲鉾
 - 一 伊達巻
 - 一 数の子の土佐醤油漬
 - 一 芝海老の玉子包み揚げ
 - 一 鰯の山椒焼
 - 一 松風焼
 - 一 蕪の押し寿司
 - 一 昆布巻
 - 一 鰻真丈
 - 一 鮭真丈
 - 一 子持ち椎茸
 - 一 華砵巻
 - 一 豚肉の三色ロール
 - 一 高野豆腐の含め煮
 - 一 捻り梅人參の含め煮
 - 一 松形大根の含め煮
 - 一 信田巻
 - 一 菊花大根のイクラ添え
 - 一 錦玉子
 - 一 金柑の甘露煮
 - 一 黒豆茶巾
 - 一 栗の甘露煮
 - 一 絹さや
 - 一 赤飯
- ※ 雑煮仕立て
- 日の出蒲鉾と伊達巻以外は全て手作りをしています。

11月

秋の寿司膳



12月

クリスマス



委員会紹介
褥瘡対策委員会

当院の許可病床は 199 床であり、全て精神科病床となっています。現在、患者様の高齢化に伴い身体機能低下をきたし、徐々に寝たきり状態となる患者様が増加しています。このような患者様は活動の低下や低栄養状態に陥りやすく、褥瘡発生のリスクはかなり高くなっています。そこで当院では 2002 年褥瘡対策委員会を立ち上げ、導入時は医師・看護師、事務メンバーにて発足し、その後薬剤・栄養部門も加わり多職種チームとして連携しながら褥瘡対策に取り組み、日々活動を行っています。

活動内容として、当院では定期的に入院患者様 1 人 1 人についてリスク評価を行い、予防ケアが提供できるようにケア計画を立案し、月 1 回評価を行い、委員会全員で褥瘡患者様を中心とした回診を行っています。ケア用品として、現在 100 台以上の体圧分散マットが準備できており褥瘡予防及び褥瘡発生リスク・状態に応じてマットを使用しています。

これからも質の高い褥瘡管理に努め、新たな技術を身に付けスキルアップを図りたいと思いません。

第20回コスモス会のご報告

コスモス会（認知症の家族会）



平成 24 年 11 月 17 日（土）に「認知症高齢者とその家族の地域での生活を支える～行政の立場から～」というテーマで第 20 回コスモス会を開催しました。

講演は枕崎市地域包括支援センター係長栗野昌代氏より地域包括支援センターの役割やかかわりなどについて講演していただきました。講演を聞いたご家族からも地域包括支援センターの存在を知らなかった、身近に介護の事を相談できるところがあれば心強いなどの意見もありました。また、認知症サポーター養成に少しずつ取り組み始めたことなども知ることができました。

講演後の座談会では、日頃の介護での困ったことやご家族の思いなど活発な意見交換がなされ、「介護している人の悩みも聞いて自分だけではないとわかってよかった」「来てよかった」「地域包括支援センターやサービス等を知らないと相談する事もなく一人で抱え込むため相談する大切さも必要と感じました」等の感想を頂くこともでき、大変有意義な家族会となりました。

日々の生活の中で介護をするということはお家族の方にとっても大変な負担となることと思えます。1人で抱え込まず、また相談・悩みや思いをみんなで共有し、支え合うことが出来ればと思います。困ったことがあれば、遠慮なく地域包括支援センターや当院職員へ声をおかけ下さい。ご家族の皆様、ご参加ありがとうございました。まだ参加されたことのないご家族の方も、ぜひ一度家族会へ足を運ばれてみて下さい。職員一同お待ちしております。

回想の窓

テーマ『初恋・恋愛』

- A さん：「その人のことを考えると眠れなくなるから考えないようにしてるんです（照）。もう見てるだけでしたね。頭がよくて静かな人だったんですけど、見てるだけで嬉しかったんですよ」
- B さん：「私は恋は多かったんですけど、やっぱり初デートのことは今でも覚えてますね。海岸沿いをドライブして。あの時の海のおいしさは今でも覚えてます。私は横で歌を歌ってたら彼はすごく喜んでくれてねー」
- C さん：「デートの時は彼の下駄の音がカランカロンと近づいてきて、今家から出ようか、いやもう少し待とうか、って考えていたのよ」
- D さん：「私は見合いで枕崎に嫁いだんだけど、よくこんなが残っていたなあって思うくらい真面目で働き者でね。お金を稼いでくれたから困る事はなかったわ！」
(声をそろえて皆で笑う)

皆さん、まるで昨日のことだったかのように、初恋の話や、旦那様との出会いの話などを語って下さい。目をキラキラとさせて、時には顔を真っ赤にしながらかた話されるその姿は、本当に瑞々しいです。そんなメンバーの方々にこちらの方が元気を頂きながら、楽しく回想法を行なっています。



臨床心理室

お知らせ

■精神科当番 2/11(月)
■内科当番 1/27(日)



※1月より外来診療担当が下記のとおり変更になりました。

	月		火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
精神科	鮫島(拓)	検査	鮫島(秀)	濱田	鮫島(秀)	鮫島(三)	鮫島(秀)	回診	鮫島(拓)	鮫島(秀)	鮫島(秀)	休診
	追口		宮内		稲留		宮内		宮内		追口	
	下濱田		稲留		下濱田		追口		下鮫島(三)		稲留	
内科	児島	—	—	—	福永	福永	—	—	児島	—	—	休診



当院では院内8箇所に意見箱を設置し、患者様、ご家族様からのご意見・ご要望に出来るべく取り組んでいます。寄せられたご意見・ご要望と、それらに対する回答を一部紹介します。

- 1.食事のことですが、「おいものオレンジ煮」とか「カリフラワーのカレーふうみ」とかではなく、普通に「おいも」「カリフラワー」にトマトやマヨネーズを添える方が、食がすすみます。職員の方の手間もはぶけるし、その方がおいしく頂けます。素材をいかした食事を希望します。
⇒貴重な御意見ありがとうございます。「おいものオレンジ煮」や「カリフラワーのカレーふうみ」といった献立を楽しみにして下さる患者様もいらっしゃいますので、献立からはすすことはできませんが、「おいも」や「カリフラワーにトマトやマヨネーズを添えたもの」などを今後献立の中に取り入れていきたいと思えます。(管理栄養士)
- 2.看護師の方はほんとうに親切でいっしょうけんめい働いておられます。がんばってください。
⇒本当にうれしいお言葉ありがとうございます。今後も患者様によりよい看護を提供していける様にスタッフ一同頑張ります。(病棟師長)
- 3.入院者さんで、3ヶ月をとうに過ぎても、同じ病棟にいる方がいらっしゃるとう聞きしました。そのような差別は誰の権限で決められるのですか？
⇒おたずねの件は、「精神科急性期治療病棟(レスティア病棟)」のことと思われるのですが、医療保険での届出要件が入院期間原則3ヶ月以内と定められています。但し、精神保健福祉法上の措置入院は3ヶ月の制限はなく重度の精神病症状を呈し、難治性の場合あるいは重篤な身体合併症を起こした場合等ある一定の範囲で制限の延長が認められています。「重篤の精神病症状で難治性」の判断は、病棟カンファレンスを行い他職種の意見を聞き、主治医と院長が協議して決定します。ご理解の程を宜しくお願い致します。(病院長)
- 4.トイレの備品!?!の補充をしっかりと行って下さい。トイレットペーパーがない、便座消毒液切れ、手を洗った後に手をふくペーパーがないなど、たて続けにあり困りました。どうぞよろしくおねがいします。
⇒ご迷惑をかけ、申しわけございませんでした。朝、業者の清掃点検をおこなっていますが、病棟でも時間を決め、チェックしていく様に周知徹底しました。(病棟師長)

編集後記

2013年が幕を開けました。ことしは巳年、蛇が脱皮するがごとく、新しいことに挑戦し、更なる発展を目指したいと思います。皆様にとって素晴らしい1年でありますように(寿)

発行人 鮫島秀弥 社会医療法人慈生会
〒898-0089 鹿児島県枕崎市白沢北町191番地
TEL (0993) 72-0055 FAX 72-1199
URL <http://www.wkh.or.jp/>
E-mail jiseikai@wkh.or.jp
ウエルフェアは
健康・幸福・福祉・繁栄を意味します。